



クリスマススイブです。六十年前
前ミッションスクールの生徒だ
った私は、メサイヤの合唱とど
もに楽しみな季節でした。

思い返すと、今年は大くさんのプレゼン
トを頂きました。何といっても富士山の世
界文化遺産決定のおかげで本欄に書くチャ
ンスを与えられたことです。理系人間の私
に分かりやすい文章が書けるかと不安だっ
たのですが生来の向こう見ずで引き受けて
しまい、専門用語の連発で読者の皆さまに
は我慢していただいたことと思います。

それにもかかわらず、温かい励ましのお
言葉やNPOの窮状を見かねてご寄付も頂
き感激しました。公的な援助のない私たち
のNPOは応募による研究・活動資金など
で支えられています。ほかにも年金生活
の中から参加してくださる気象庁OBの方

クリスマスプレゼント

々々、お小遣いからご支援くださる一家な
どに支えられています。小学生のころから
毎年、見学会に参加していた静岡県のIさ
んからは「今年は大くさんの登山者で登山
道が傷むから我慢しました」というお便り
とカンパを頂き感動しました。このように
富士山を愛する方々に「測候所をちゃんと
使っている」と思っていただけによつて、
これからも活動を続けたいと思います。

なお先日、戦時中の気象データの機密に
ついて書きましたが、気象庁の先輩から一
九九〇年の湾岸戦争時もアラビア半島の天
気図が空白だったという話を聞きました。

あらためて特定秘密保護法
の恐ろしさを感じていま
す。



(土器屋 由紀子＝富士山
測候所を活用する会理事)